

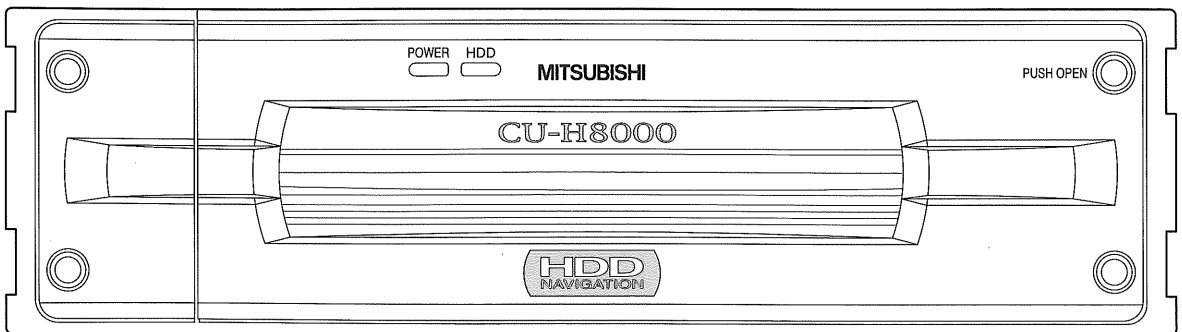
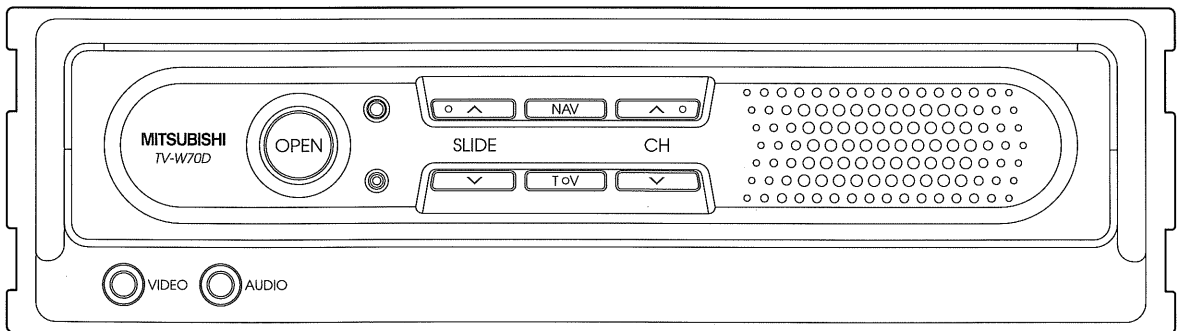
MITSUBISHI

CAR NAVIGATION SYSTEM

MODEL

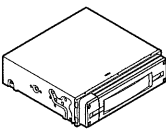
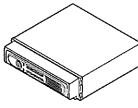
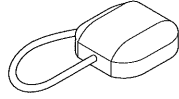


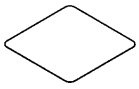

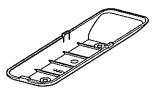
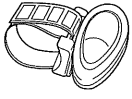
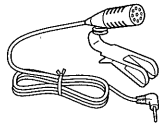



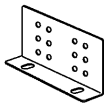
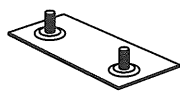
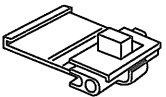
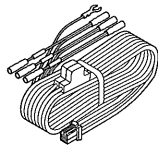
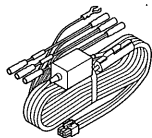

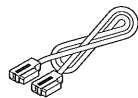
CU-H8000シリーズ

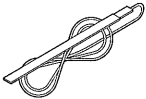
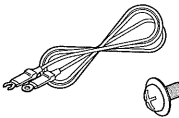





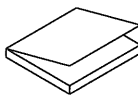
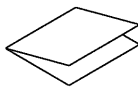

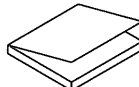
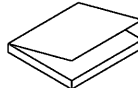

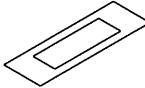
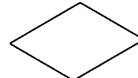
取付要領書



構成部品

アスカ

<p>①HDDナビゲーションユニット (CU-H8000)</p> 	<p>②1DIN収納TV</p> 	<p>③GPSアンテナ</p> 
<p>④防水クッション (GPSアンテナ用)</p> 	<p>⑤クランパー (GPSアンテナ用)</p>  ×5	<p>⑥グラウンドプレート (GPSアンテナ用)</p> 
<p>⑦リモコン(HDDナビ、1DIN収納TV用)</p> 	<p>⑧リモコンホルダー</p> 	<p>⑨ハンドルリモコン</p> 
<p>⑩マイク</p> 	<p>⑪マイククリップ (コラムカバー取付用)</p> 	<p>⑫コードクランプ (マイク取付用)</p>  ×6
<p>⑬乾電池(単4) (リモコン用)</p>  ×2	<p>⑭ボタン電池 (CR-2032) (ハンドルリモコン用)</p> 	<p>⑮取付ブラケット(ナビ用)</p>  ×2
<p>⑯取付ベース(ナビ用)</p>  ×2	<p>⑰圧着式コネクター</p>  ×4	<p>⑱電源コード(HDDナビ用)</p> 
<p>⑲電源コード(1DIN収納TV用)</p> 	<p>⑳接続コード(A)</p> 	<p>㉑接続コード(B)</p> 

<p>②② FMトランスミッター アンテナ</p> 	<p>②③ アースコード(取付ネジ付)</p> 	<p>②④ 両面接着テープ (取付ベース用)</p>  ×2
<p>②⑤ 両面接着テープ (リモコンホルダー用)</p> 	<p>②⑥ カップスクリュー(M5×8)</p>  ×8	<p>②⑦ 六角ナット(M6用)</p>  ×4
<p>②⑧ コードクランプ</p>  ×3	<p>②⑨ HDDナビゲーションシステム 取扱説明書 (ナビ/ビデオ/オーディオ/通信編)</p> 	<p>③⑩ HDDナビゲーションシステム 取扱説明書 (Java編)</p> 
<p>③① 地図データベース・ランドマーク 一覧表</p> 	<p>③② 取付要領書<本書></p> 	<p>③③ テレビ部取扱説明書</p> 
<p>③④ サービス相談窓口一覧表</p> 	<p>③⑤ 保証書</p> 	<p>③⑥ VICS情報有料放送 サービス契約約款</p> 

目次

はじめに

構成部品	1
ご注意とお願い	4

取付要領

ナビゲーションユニットの取り付けかた	7
1DIN 収納 TV の取り付けかた	9
GPS アンテナの取り付けかた	10
マイクの取り付けかた	11
ナビゲーション本体用リモコンの取り付けかた	12
ハンドルリモコンの取り付けかた	13
ハンドルリモコンの電池交換	13

接続要領

接続のしかた	15
接続のしかた/システムアップ例	17
コネクターの脱着について	19
ブレーキ信号の取り出しかた	19
車速信号の取り出しかた	19
圧着式コネクターの使いかた	20
リバースコードを接続する	20

接続確認

接続確認のしかた（動作チェック）	21
ブレーキ信号コードの接続確認	22

ご注意とお願い

- 取り付けおよび接続作業の前に「取付要領書」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。

絵表示は次のような意味を示しています。

正しい取付け
正しい操作で
安全運転



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



してはいけない「禁止」の行為を示します。



必ず実行していただく「強制」の行為を示します。



「注意」(警告を含む)を示す内容を示します。



警告

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



禁止

24V車で使用しない

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



禁止

運転操作を妨げる場所に取り付けない

- 前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグ動作を妨げる場所には取り付けない

- エアバッグシステム装備車の場合、エアバッグシステム動作の妨げになる場所に取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に機能せず危険です。

ご注意とお願い (つづき)



禁止

保安部品のボルトやナットは使用しない

- 車体のボルトやナットを使用して機器を取り付けたり、アースをとるときは、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、事故や発火の原因となります。



注意

燃料タンクなどに穴をあけない

- 車体に穴をあけるときは裏側に何も無いことを確かめ、燃料タンクなどに穴をあけないように注意してください。また配線を傷つけないように注意してください。



実施

バッテリーを接続したまま配線しない

- 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。⊖端子を外さずに作業するとショート事故による感電やけがの原因となります。



禁止

タコ足配線をしない

- 電源コードの被覆を破って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。コードの電源容量をオーバーし、火災、感電の原因となります。



実施

コード類はまとめておく

- コード類は運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しない

- ヒューズが切れたときは、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



実施

すべての電装品の動作を確認する

- 取り付けと配線が終わったら、すべての電装品が元通り正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



分解禁止

分解、改造はしない

- 機器を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



実施

電池は幼児の手が届かないところに保管する

- 事故防止のため、電池は幼児の手が届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



注意

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



実施

本機の取り付け・配線には、専門技術者に依頼する

- 取り外し、取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため必ず“お買い上げの販売店”に依頼してください。



禁止

本機を車載用として以外は使用しない

- 感電やけがの原因となることがあります。



実施

説明書の指示に従い配線する

- 「取付要領書」の指示に従い配線してください。正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。



禁止

高温になる所へは取り付けない

- 熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くには取り付けないでください。機器が加熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

通風孔や放熱板をふさがない

- 機器の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



実施

指定以外の部品を使用しない

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



注意

コードのはさみ込みに注意する

- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコードをはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



実施

コードの被覆を傷めない

- 車両部品のバリ(部品加工時にできる鋭利な突起)や鋭利な場所にコードが接触する場合は、コードの被覆を傷めないように必ずクッションテープなどで保護してください。火災や感電の原因となることがあります。



禁止

本機を不安定なところに取り付けない

- 本機を振動の多いところなど、しっかりと固定できないところに取り付けないでください。走行中に機器が落下するなどして、事故やけがの原因となることがあります。



実施

エアバッグ装着車は、車両メーカーの注意事項をよく確認する

- エアバッグが誤動作する原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない

- 指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となります。



注意

電池の極性に注意する

- 電池を機器内に挿入する場合、極性(⊕・⊖)に注意し、表示通りに入れてください。電池の極性を間違えると、破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



注意

水のかかるところやほこりの多いところへは取り付けない

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。機器内部に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

ナビゲーションユニットの取り付けかた

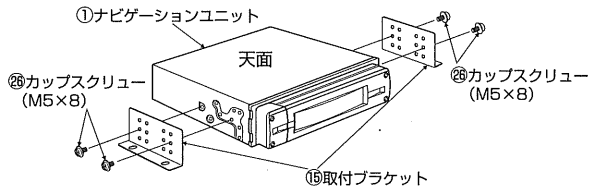
取り付けかた

■必ず付属の部品を指定通り使用し取り付けてください。

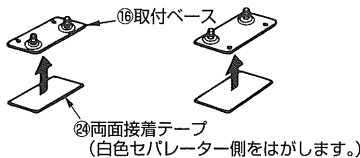
トランクルームの床に取り付ける場合

1 ①ナビゲーションユニット側面に⑬取付ブラケットを下向きに⑭カップスクリューで取り付けます。

4 ⑩取付ベースと⑬取付ブラケットの仮止めを外し、本体を取り外します。

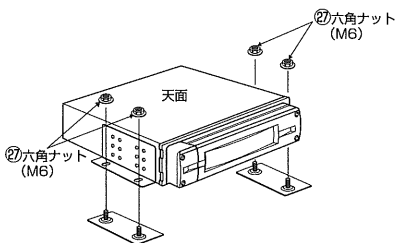


2 ⑩取付ベースの裏側に⑲両面接着テープを貼り付けます。

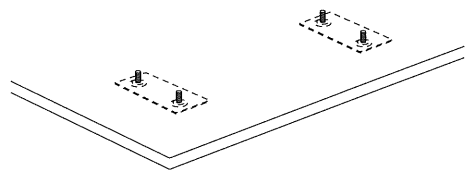


3 ⑩取付ベースと⑬取付ブラケットを⑲六角ナットで仮止めたあと、カーペットをめくり、取り付け位置を決め、床に⑩取付ベースを貼り付けます。

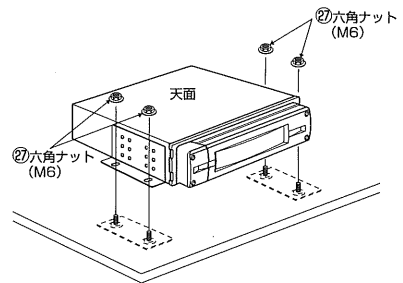
●⑩取付ベースを貼り付ける床面の汚れは、きれいにふきとってください。



5 カーペットを元に戻し、ネジが当たる所にカッターナイフなどで切り込みを入れ、ネジをカーペットの上に出します。



6 カーペットの上に出したネジと⑬取付ブラケットのネジ穴があうように本体を置き、⑲六角ナットでしっかりと固定します。

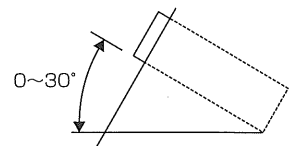


チェック

オーディオスペースに取り付ける場合

ご注意

●取り付けの角度は、水平～30°の範囲でご使用ください。範囲外で使用した場合、誤動作、故障の原因となります。



1. 車両側オーディオスペースのオーディオ機器、小物入れなどを取り外します。

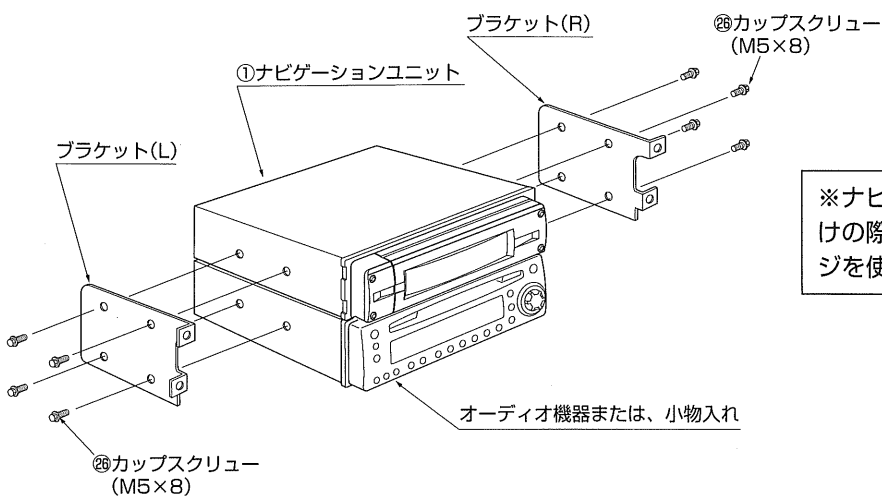
既に装着されているオーディオ機器、小物入れなどを外してください。

2. ナビゲーションユニットを取り付けます。

取り外したオーディオ機器、小物入れなどを止めていたブラケットを使用して、ナビゲーションユニットをオーディオスペースに取り付けます。(ナビゲーションユニットは上段に取り付けてください。)

●年式、車種、グレードにより、専用取付キット（別売）が必要な場合がありますので、詳細については、お買い上げ店または、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス相談窓口一覧をご覧ください。）へご相談ください。

3. エスカッションパネルを取り付けます。



※ナビゲーションユニットを取り付けの際には、必ず同梱の取り付けネジを使用してください。

チェック	
------	--

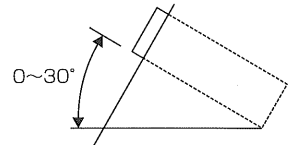
1DIN収納TVの取り付けかた

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。

オーディオスペースに取り付ける場合

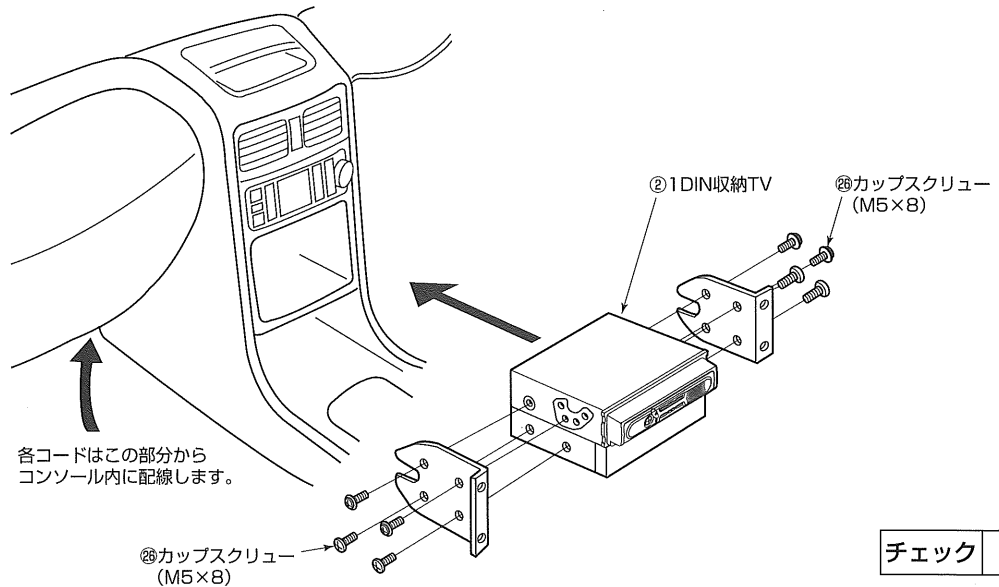
ご注意

- 取り付けの際は、必ず液晶パネル部が完全に収納された状態で行ってください。収納が不完全な状態で取り付けると故障の原因となることがあります。
- 特にオートマチック車の場合は、液晶パネル部開閉の際にシフトレバーと接触しないことを確認してからご使用ください。
- 取り付けの角度は、水平～30°の範囲でご使用ください。範囲外で使用した場合、故障の原因となります。
- 液晶パネル部を起こした状態では車両側の操作ボタン等の妨害とならない位置に取り付けてください。

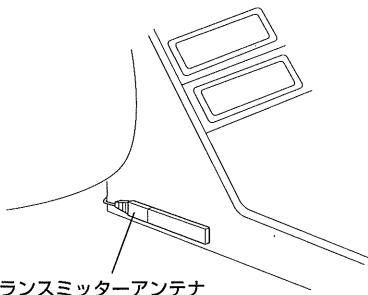


1 車両よりオーディオを取り外し②1DIN収納TVを上段、オーディオまたは、小物入れを下段に取り付けます。この状態で各コードを配線し、配線終了後セットを元通り取り付けます。(ナビゲーションユニットとの同時装着は出来ません。)

- 年式、車種、グレードにより、専用取付キット(別売)が必要な場合がありますので、詳細については、お買い上げ店または、最寄りの地区別サービス店(別紙サービス相談窓口一覧をご覧ください。)へご相談ください。



②FMトランスミッターアンテナの取り付けかた



②FMトランスミッターアンテナ裏面のセパレーターをはがし、センターコンソール側面の目立たない場所に貼り付けます。

注)アンテナ貼り付け面の汚れはきれいに拭き取ってください。

チェック	
------	--

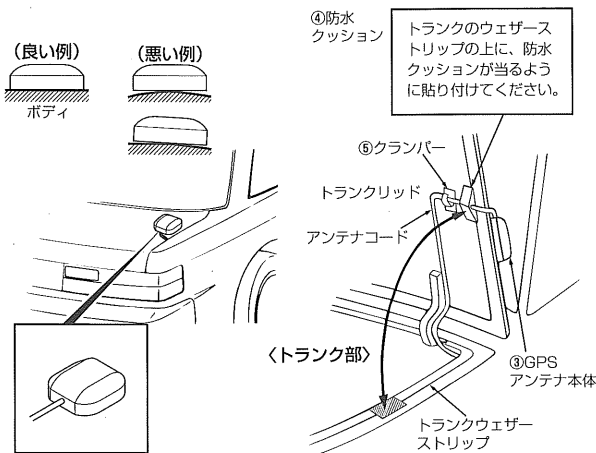
GPSアンテナの取り付けかた

取り付けかた

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。

トランクリッドに取り付ける場合

- GPSアンテナ本体は磁力で付くようになっていますが、しっかりと取り付けるために、平らな面に取り付けてください。

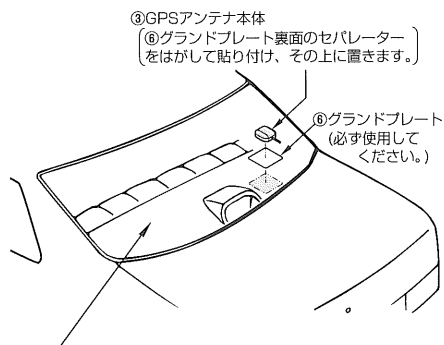


チェック

アンテナのケーブル長が不足する場合は、別売GPSアンテナ延長コード(LEAD-ANT94-5 5m)を使用してください。

リヤトレイボードに取り付ける場合

- GPSアンテナ本体は、リヤトレイボードのリヤガラスに近い位置に取り付けアンテナコードはリヤトレイボードのすき間におし込みます。

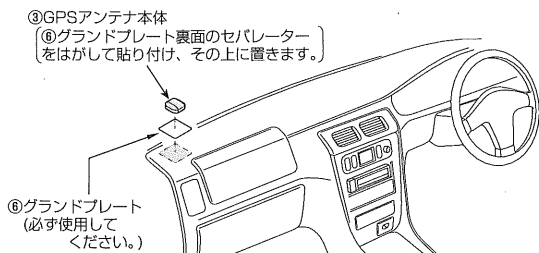


- 熱線リヤガラス及びリヤガラスアンテナ装備車は取り付け位置によりGPS衛星からの電波が受信しにくい場合があります。
 - ・車室外取り付け時と同程度の受信感度が得られる場所に設置してください。
 - ・一部の特殊ガラスを採用している車では電波が遮断され受信できなくなるので、トランクリッドまたはフロントダッシュボードへ取り付けてください。

チェック

フロントダッシュボードに取り付ける場合

- GPSアンテナ本体はダッシュボードの中央付近を避けてフロントガラスに近い位置に取り付けてください。
(ダッシュボード中央付近にGPSアンテナ本体を設置するとセンターコンソールに設置されている周辺機器からの影響で受信感度が低下することがあります。)



チェック

！注意事項

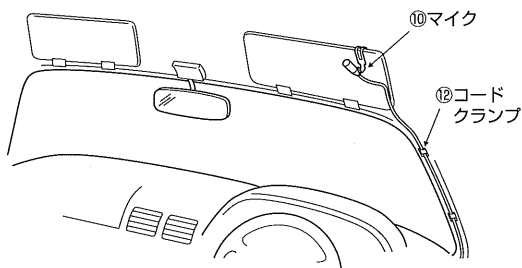
- GPSアンテナ本体を車内に取り付ける場合、必ずグラウンドプレートを使用してください。またグラウンドプレートを小さくする等の加工をしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナ本体の設置場所は、GPS衛星からの電波がさえぎられない場所で、なるべく平らで水平な面を選んでください。
- GPSアンテナコードは、必要に応じてクランパーを使用して車両に固定してください。
- GPSアンテナコードの配線はテレビやラジオのアンテナコードから離してください。近づけて配線するとテレビやラジオに妨害を与えることがあります。
- GPSアンテナ本体は、ナビゲーションシステム本体、周辺機器及びそれらの接続コードの近くに取り付けしないでください。近くに取り付けると受信感度低下の原因となることがあります。

マイクの取り付けかた

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。

サンバイザーにマイクを取り付ける場合

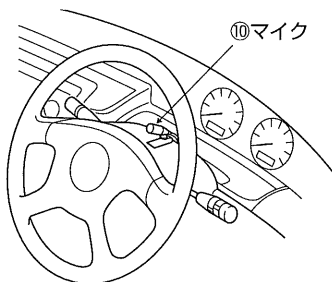
- サンバイザーを上げた状態で⑩マイク(サンバイザー取付用クリップ付)が発話する人の方へ向くようにクリップでサンバイザーに取り付けます。
- マイクのコードを⑫コードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



チェック

コラムカバーにマイクを取り付ける場合

- ⑩マイクに付いているサンバイザー取付用のクリップを⑪コラムカバー取付用のクリップに付け替えて、ハンドルコラム上のあらかじめ決めておいた位置に両面テープで固定してください。
- マイクのコードを⑫コードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



チェック

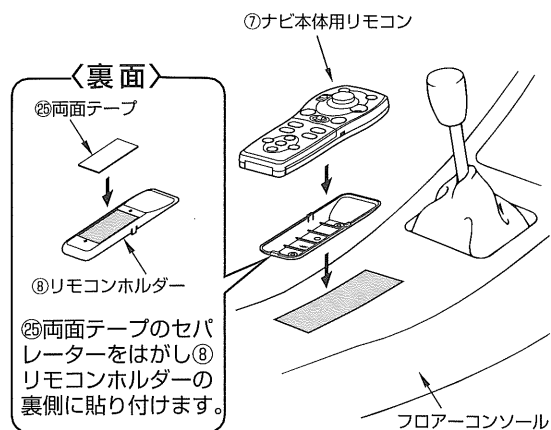
！注意事項

- マイクは発話する人の口もとから20～40cmの距離のところに、口元に向けて取り付けてください。
- マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因となります。
- コラムカバーに取付ける場合、メーター等の視界を妨げず、ステアリング操作等に支障のない位置を選んでください。
- マイクと発話する人の間に障害物があるような取り付けは避けてください。
- マイクが口元に向いていないと車内の騒音が大きいときに誤認識が多くなります。
- サンバイザーを下げた状態ではマイクが発話する人の方を向かないため正しく認識できません。
- マイク取付位置はサンバイザーを推奨します。**

(コラムカバーに取り付けた場合は、一部の車種で振動、騒音等の影響により、十分な認識性能が得られないことがあります。)

ナビゲーション本体用リモコンの取り付けかた

(例)下記は代表的な例です。運転操作の妨げにならない場所に取り付けてください。



チェック

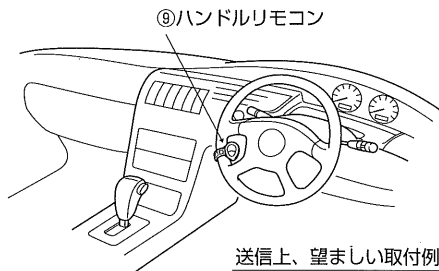
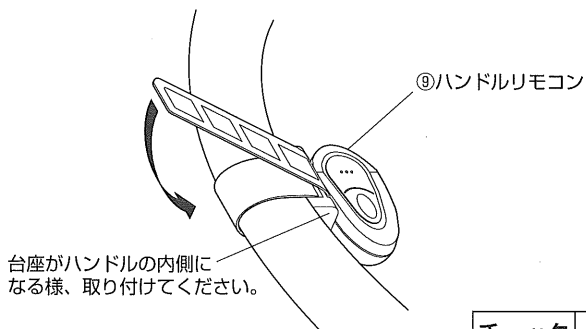
！注意事項

リモコン操作が容易に行える場所を決めてから⑨両面テープで固定してください。

⑨両面テープを貼り付ける面は、きれいに汚れをふきとってください。

ハンドルリモコンの取り付けかた

- マジックテープ付きのバンドをほどいてハンドルに巻き付け固定します。



チェック

！注意事項

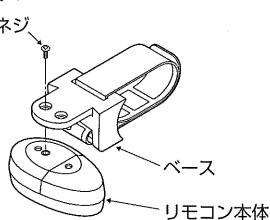
- 運転等、操作の支障にならない位置に取り付けてください。
- ユニット受光部にリモコンの信号が届く位置を確認の上、取り付けてください。
(リモコンの取り付けの角度や位置によっては、信号を受信できないことがあります。)
- 取り付け用のバンドはしっかりとハンドルに巻き付けてください。
- エアバッグなど車の安全装置を妨げない場所に取り付けてください。
- 車のメーター類の視界の妨げになる場所には、取り付けないでください。
- 直射日光のあたるダッシュボードの上などには、取り付けないでください。高温により変形の恐れがあります。
- ハンドルの外側には取り付けないでください。運転操作の支障になり、交通事故の原因となります。
- ハンドルリモコンは、ハンドルの左または右側のユニット受光部に近い方(右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側)に取り付けてください。逆側に取り付けると、ハンドルリモコンの信号がユニット受光部に届かない為、動作しないことがあります。
- ハンドルリモコンの取付調整だけで受信がうまくいかない場合、ディスプレイの角度方向も調整してください。
- 危険防止の為、ハンドル操作中にリモコン操作は行わないでください。

ハンドルリモコンの電池交換

はじめてお使いになるときや電池が切れたときは、次のように電池を入れてください。電池はボタン電池(CR-2032)を1個使用してください。

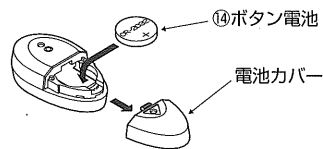
1. リモコン本体を外す

- ハンドルリモコンのネジを取り外し、リモコン本体とベースを取り外します。



2. 電池を入れる

- リモコン本体から電池カバーを取り外し、電池を入れます。(+)(-)の方向を確認の上、入れてください。

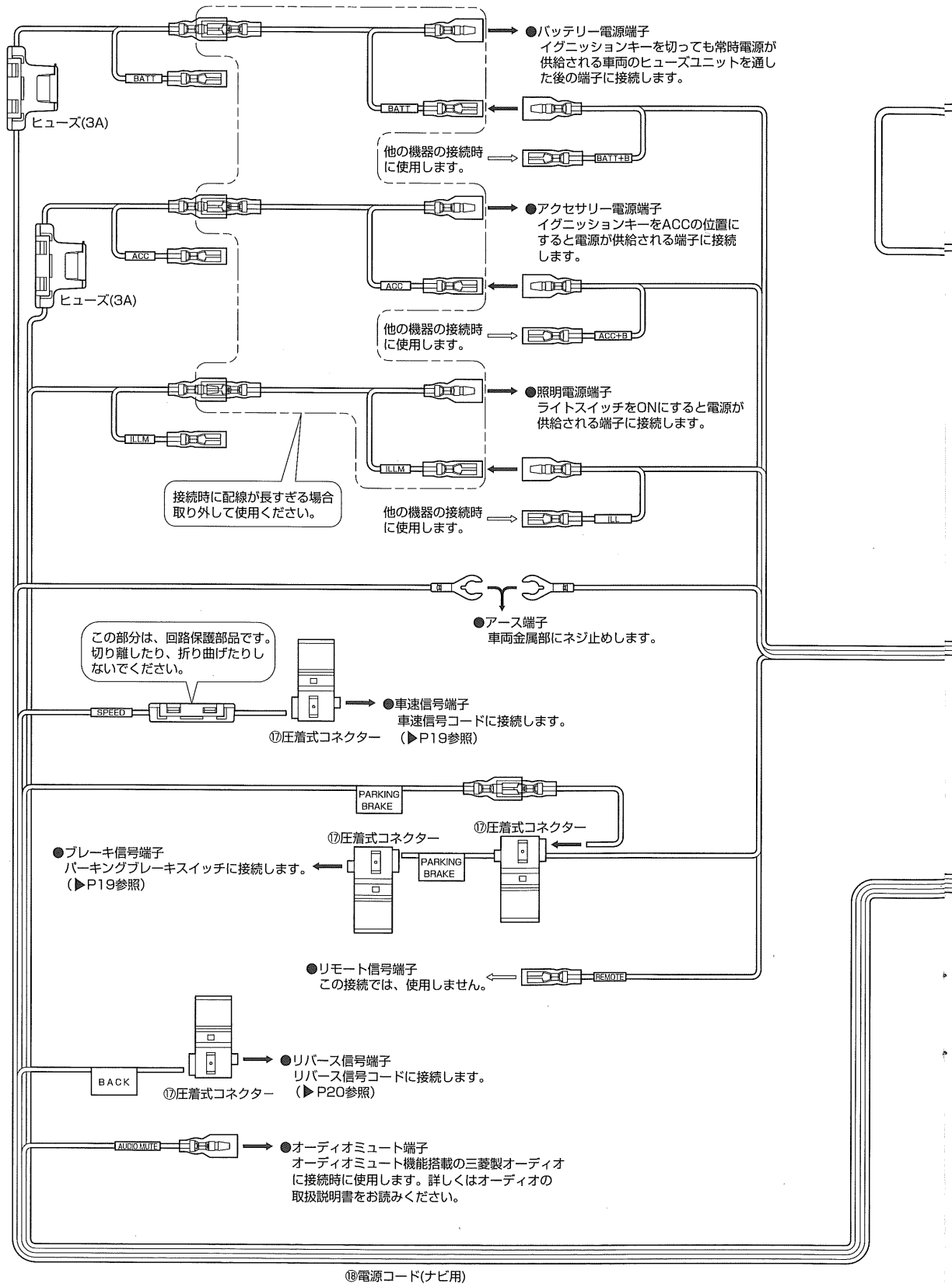


3. 元に戻す

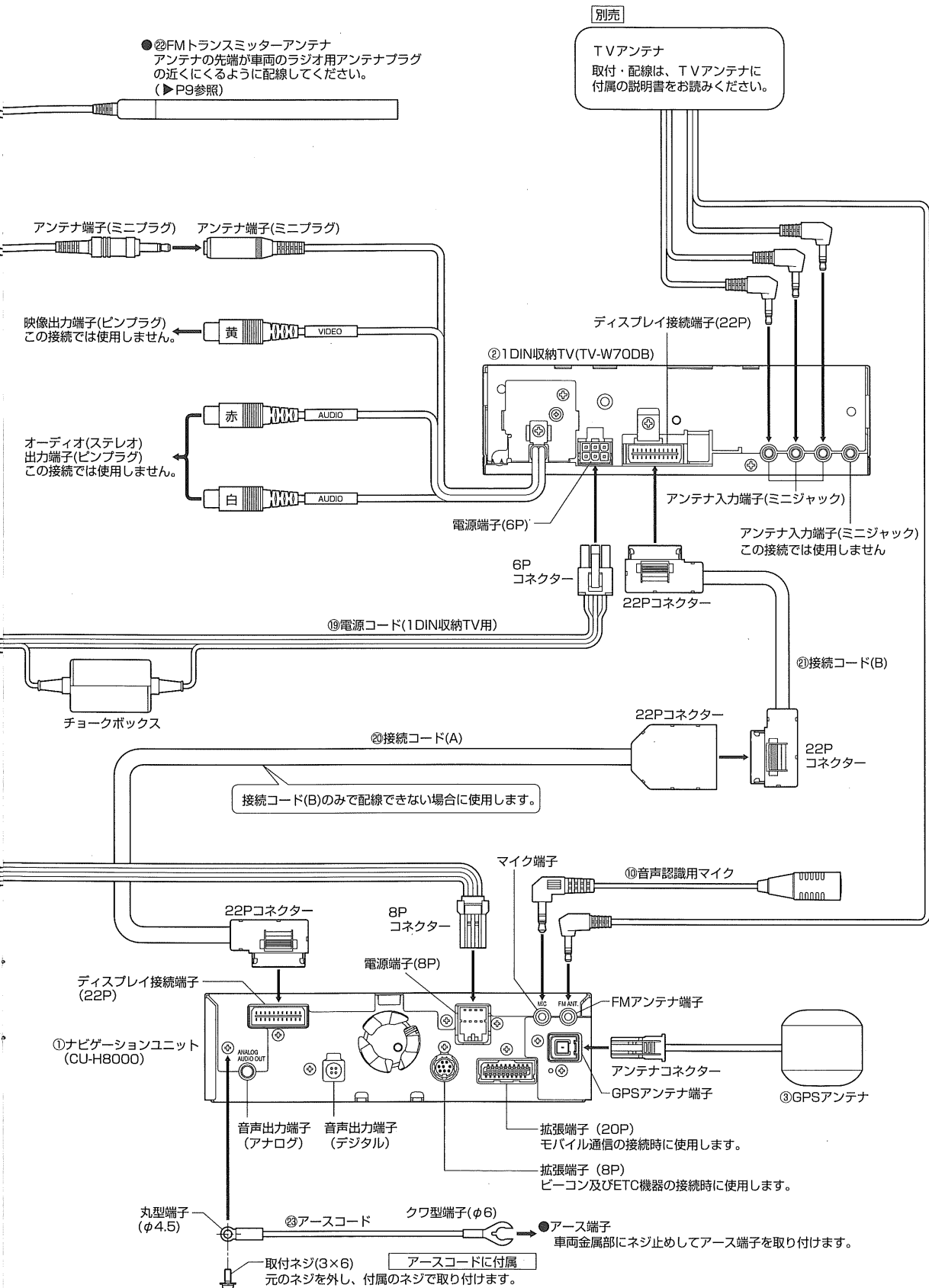
- 取り外しの逆の手順にて、元に戻します。

チェック

接続のしかた

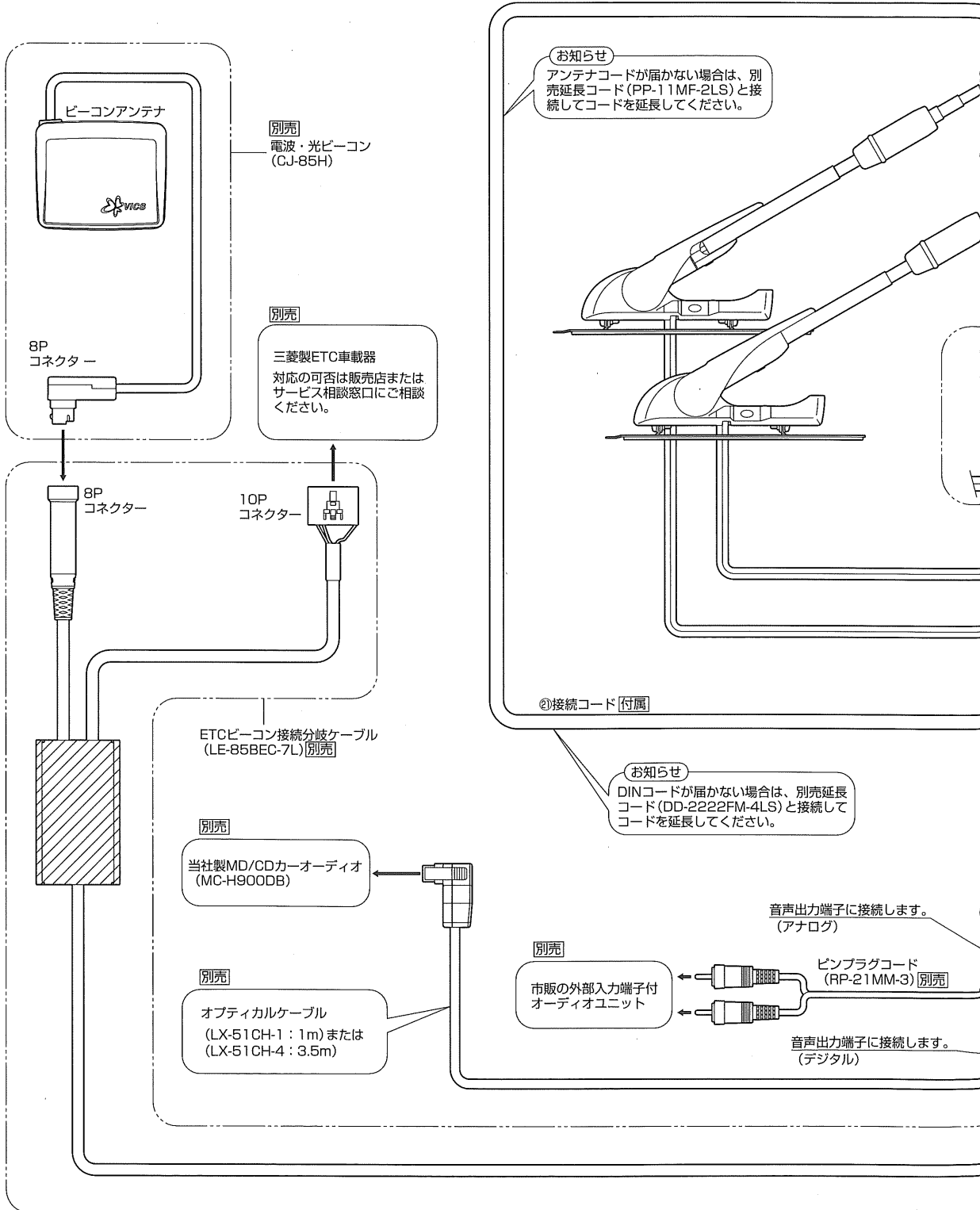


本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
 接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。



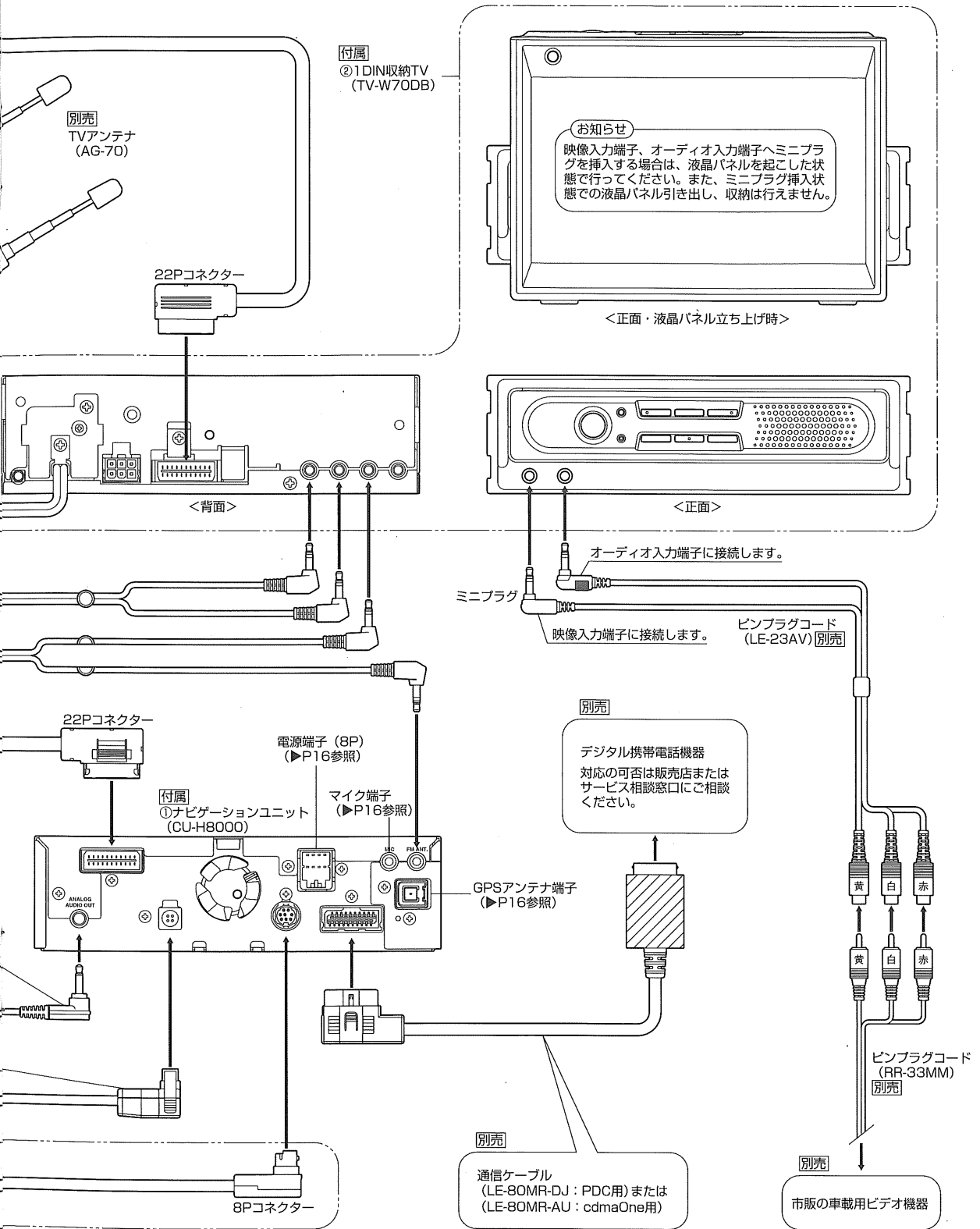
接続のしかた/システムアップ例

ここに記載されている接続例は、ほんの一例です。お買い上げの製品のシステムアップについては、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。



接続要領

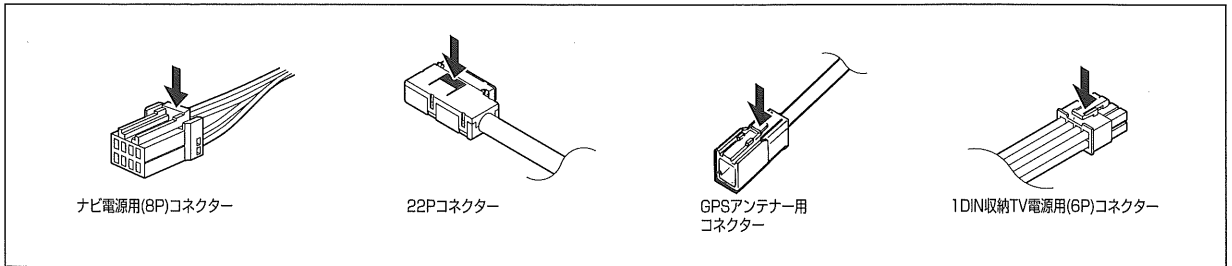
別売品の配線については、各製品付属の説明書をお読みください。



接続要領

コネクターの脱着について

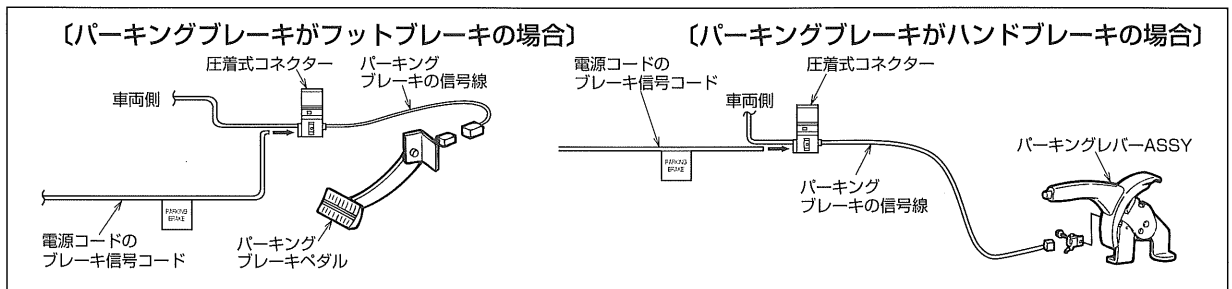
各コネクタ接続時は確実に奥まで差し込んでください。また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。



チェック

ブレーキ信号の取り出しかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。詳細については、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。）へご相談ください。



チェック

車速信号について

■ 車速信号の取り出しについて

- 車速信号は主にエンジン電子制御装置（ECU）に接続されている車速信号コードより取り出します。これはエンジン電子制御装置が主に室内に取り付けられていて、車速センサー回路から直接取るよりも場所の確認等配線作業が容易に行えるためです。

■ 車両側車速信号コードの位置は

- 車種、年式、エンジン型式の違いにより異なります。車速信号に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表に記載の代理店にご相談ください。

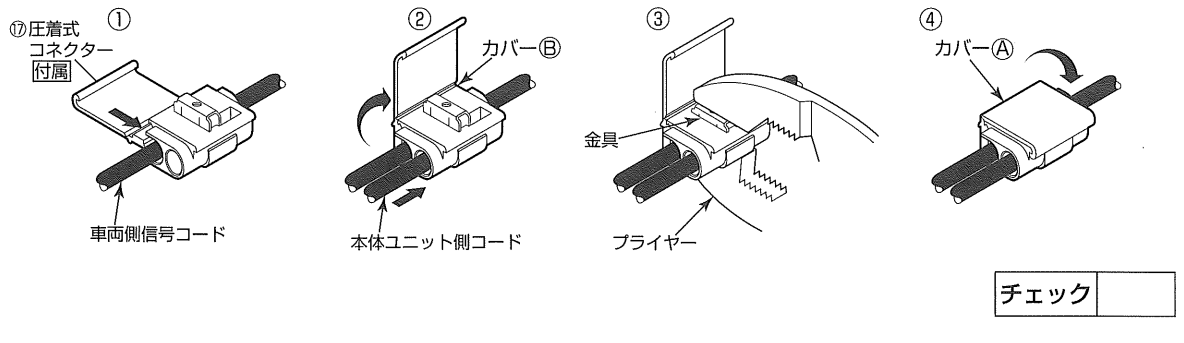
お願い

配線終了後、P.21 “接続確認のしかた” をご覧になり、車速信号が確実に取り出されていることを確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

チェック

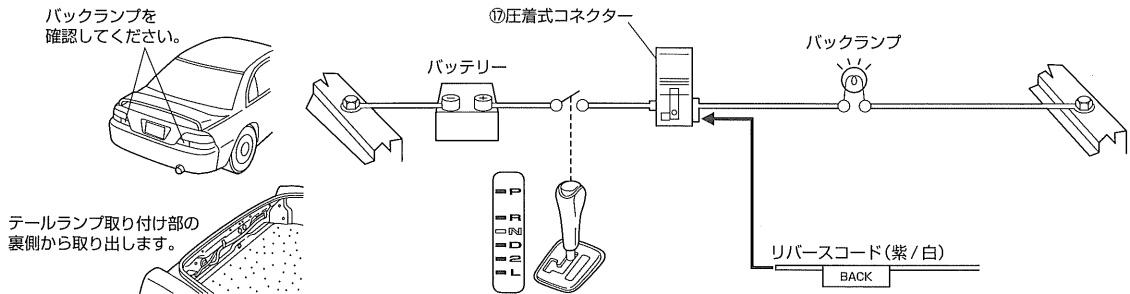
圧着式コネクターの使いかた

- ①車両側信号コードから信号を取り出せる位置を決め圧着式コネクター内に通します。
- ②カバー⑧を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込んでください。本体ユニット側コードの先端を圧着式コネクターに差し込みます。
(側面に当たるまでコードを差し込んでください。)
- ③上面の金具をプライヤー等ではさみ込み車両側信号コードと本体ユニット側コードを固定します。
(コードが外れないように確実に固定してください。)
- ④カバー⑨を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込んでください。



リバースコードを接続する

チェンジレバーをリバース(R)に入れたとき点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線にリバースコード(紫/白)を接続してください。



接続確認のしかた（動作チェック）

1. 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを<ACC>または<ON>にし、ナビゲーションシステムを立ち上げます。
オープニング画面表示後、自動的に現在位置画面になります。
2. GPS測位を確認します。
ナビ本体用リモコンで『モードボタン』を押し、RV画面でGPSが測位していることを確認します。GPS受信まで数分かかることがあります。（RV画面の見かたは付属の“ナビ本体用取扱説明書”を参照してください。）
3. 動作チェックを行ないます。
ナビ本体用リモコンで『メニューボタン』を押し、メニュー画面から **機能を設定する** ⇒ **システムの設定をする** ⇒ **サービス** を選び、各項目の動作チェックを行ってください。画面の見かたは付属の“ナビ本体用取扱説明書”の「環境設定」を参照してください。

！注意事項

各項目のチェック結果でNGとなった場合は、必ず車両を安全な場所に停車し、取り付け・配線をもう一度確認してください。

4. 車速・ジャイロの初期設定(自動)を行ないます。
見通しの良い場所をしばらく走行します。
（車速パルス数は時速20km以上の一定速度で直線道を数km走行することにより、自動的に初期設定されます。）
5. 初期設定を確認します。
ナビ本体用リモコンで『メニューボタン』を押し、メニュー画面から **機能を設定する** ⇒ **システムの設定をする** ⇒ **補正** ⇒ **センサ補正** を選び画面を確認します。
（センサ補正の確認は“ナビ本体用取扱説明書”の「環境設定」を参照してください。）

（手順5で車速パルス数の表示が「・・・」になった時は、初期設定が完了していませんので上記4～5を繰り返してください。また、手順5で「!!!」の表示が出た時は、車速度信号の取り出しが正常でない場合が考えられますので、接続を確認した後、上記4～5を繰り返してください。）

ご注意

- 初期設定中は、自車位置マークが正しく動かないときがあります。
- 車種・年式・エンジン型式により車速パルス数が異なりますので、ナビゲーションユニット本体を別の車両に積み変えた直後は実際の移動距離と異なることがあります。また、タイヤを交換された場合も同様です。

自車位置精度と自動補正について

- 自車位置精度は上記“接続確認のしかた”による初期設定完了後、GPSの受信状態の良い時に、直線道を一定速度で走行しますと自動補正が働き、徐々に精度が向上していきます。
〔自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。〕
〔見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働き易くなります。〕
- これらの作業が終了しますと、直線走行1kmにつき約10mの自車位置精度を得ることができます。

ブレーキ信号コードの接続確認

1. ブレーキ信号コードの接続終了後、車輛側シフトレバーがパーキングまたは、ニュートラル位置にあることを確認し、ブレーキペダルを踏みイグニッションキーをイグニッションONの位置にします。
2. ナビゲーションユニットの電源を“ON”にし、ナビゲーション映像を表示します。
3. パーキングブレーキを“ON” (引く) のとき、リモコンのメニューボタンを押しメニュー操作できることを確認します。
4. パーキングブレーキを“OFF” (戻す) のとき、リモコンのメニューボタンを押し “走行中は操作できません” が表示されメニューが表示されないことを確認してください。

パーキングブレーキ“ON” (引く) …メニュー画面が表示される。

パーキングブレーキ“OFF” (戻す) … “走行中は操作できません” が表示される。

チェック	<input type="checkbox"/>
------	--------------------------

お願い

配線終了後、P.21 “**接続確認のしかた**” をご覧になり、車速信号が確実に取り出されていること確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

注 意 事 項

- 作業中のショート事故防止のため、作業の際はバッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- この取付要領書は取付時のチェックシートも兼ねていますのでチェック後、保管しておいてください。

顧 客 氏 名		取 付 作 業 者	
車 両 No.		取 付 作 業 日	